



2023年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月13日

上場会社名 株式会社 自重堂

上場取引所 東

コード番号 3597 URL <https://www.jichodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出原 正信

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部長 (氏名) 富山 英朗

TEL 0847-51-8111

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績(2022年7月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	9,080	7.9	1,492	25.0	1,360	4.3	908	11.1
2022年6月期第2四半期	8,412	3.1	1,193	12.6	1,303	30.1	1,021	53.7

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 1,000百万円 (6.4%) 2022年6月期第2四半期 939百万円 (14.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	315.19	—
2022年6月期第2四半期	354.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	40,203	35,176	87.5
2022年6月期	40,068	35,041	87.5

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 35,176百万円 2022年6月期 35,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	300.00	300.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期(予想)	—	—	—	300.00	300.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	4.8	2,250	1.6	2,350	22.1	1,600	43.6	555.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

以外の会計方針の変更： 無

会計上の見積りの変更： 無

修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期2Q	2,882,848 株	2022年6月期	2,882,848 株
期末自己株式数	2023年6月期2Q	151 株	2022年6月期	142 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期2Q	2,882,698 株	2022年6月期2Q	2,882,875 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年7月1日～2022年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による活動制限の緩和が進み、ウィズコロナ・アフターコロナに向けた社会経済活動正常化の動きが見受けられました。一方、中国のゼロコロナ政策への対応に起因する生産・物流の混乱によって供給面での不安定な状況が続くとともに、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源・エネルギー価格の高騰や、世界的な金融引き締めに伴う為替動向等により、物価上昇が継続し景気減速も懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、生地やファスナーなどの製品材料価格の上昇と急速な円安や物流費上昇などのコストアップに対応するため、2022年10月出荷分から販売価格の値上げを行いました。10月以降は、値上げ前の前倒し需要の反動による売上減少を回避するため各種対策を実施し、売上・利益の拡大に努めました。「JICHODO(ジチョウドウ)」ブランドにおいては、保守本流のワークウェアとして、SDGsに貢献できる環境配慮型商品をはじめとした多様な機能性商品を積極的にPRするとともに、中国における生産・物流の混乱により納期遅延が多発する中、ユーザー様が求める商品を、必要な数量、必要なタイミングで提供できる備蓄力・供給力を武器に、企業向けユニフォームの新規物件獲得による売上・シェアの拡大を図りました。「Jawin(ジャウィン)」ブランドにおいては、機能性はもとよりファッション性を取り入れたワンランク上のカジュアルワークウェアを展開し、イメージキャラクターである新庄剛志氏の「BIGBOSS」効果を積極的に活用してブランド認知度の更なる向上を図り、普段着としての着用も視野に入れ「ワークウェア」の範囲を超えたファン層の拡大と、それに伴う売上・利益の拡大に努めてまいりました。「Z-Dragon(ジードラゴン)」ブランドにおいては、あらゆる「現場」に適応するワークウェアとしての機能性と「かっこいい」デザイン性を兼ね備えた価格訴求力のある商品の展開を強化し、世代や性別を超えた幅広いユーザーへの浸透を図り、個人向け、企業向け、両面での受注拡大に注力してまいりました。また、発熱体を内蔵した電熱ベストや、どんな衣服にも装着できる電熱パッド等を展開する電熱ギアブランドにおいては、今秋冬商戦より品質・性能をアップグレードして「FEVER GEAR ADVANCE(フィーバーギアアドバンス)」として新たに展開し、市場シェアの拡大と、新規流通ルートの開拓に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は、電熱ギアブランド「FEVER GEAR ADVANCE」が好調に売上を伸ばしたことや、2022年10月からの値上げの効果と各施策の成果により、「JICHODO」、「Jawin」、「Z-Dragon」各ブランドともに順調に推移したことにより、9,080百万円(前年同四半期比7.9%増)となりました。営業利益については、物流費を中心に経費削減を進めたことなどにより、1,492百万円(前年同四半期比25.0%増)となりました。経常利益は、輸入取引に係る為替変動リスクをヘッジする目的で行っております為替予約取引に係る時価評価によるデリバティブ評価損を計上したことなどにより、1,360百万円(前年同四半期比4.3%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、908百万円(前年同四半期比11.1%減)となりました。

なお、当社グループは単一セグメントに該当するため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ135百万円増加し、40,203百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ733百万円増加し、30,043百万円となりました。これは主に、商品及び製品が850百万円、原材料及び貯蔵品が567百万円、それぞれ増加したことと、現金及び預金が314百万円、受取手形及び売掛金が320百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ598百万円減少し、10,160百万円となりました。これは主に、投資有価証券が101百万円増加したことと、投資その他の資産その他が517百万円減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ198百万円減少し、3,737百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が241百万円増加したことと、未払法人税等が270百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ199百万円増加し、1,289百万円となりました。これは主に、固定負債その他が140百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ135百万円増加し、35,176百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、前連結会計年度より312百万円減少し、8,803百万円（前連結会計年度比3.4%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は405百万円（前年同期は2,405百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,384百万円、デリバティブ評価損571百万円、売上債権の減少320百万円、仕入債務の増加241百万円等による増加と、棚卸資産の増加1,417百万円、法人税等の支払額661百万円等による減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は143百万円（前年同期は329百万円の使用）となりました。これは主に、保険積立金の解約による収入219百万円等による増加によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は864百万円（前年同期は1,290百万円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額864百万円等による減少によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、景気の先行きは不透明な状況が続くものと思われませんが、2022年8月10日発表の、2023年6月期通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、今後状況が大きく変動するなど、連結業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,118,621	8,803,999
受取手形及び売掛金	4,633,481	4,312,744
商品及び製品	13,224,998	14,075,024
仕掛品	3,150	3,548
原材料及び貯蔵品	1,796,804	2,364,341
その他	535,394	484,511
貸倒引当金	△2,277	△422
流動資産合計	29,310,174	30,043,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,700,213	1,630,544
土地	3,958,667	3,958,667
その他（純額）	374,844	348,200
有形固定資産合計	6,033,725	5,937,412
無形固定資産	25,357	22,691
投資その他の資産		
投資有価証券	2,408,657	2,510,234
関係会社出資金	115,901	131,434
繰延税金資産	109,703	12,167
その他	2,115,640	1,598,389
貸倒引当金	△50,650	△52,204
投資その他の資産合計	4,699,252	4,200,020
固定資産合計	10,758,336	10,160,125
資産合計	40,068,511	40,203,873

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,623,079	2,864,708
未払金	382,173	292,727
未払法人税等	679,569	408,744
賞与引当金	102,262	18,781
その他	149,391	152,540
流動負債合計	3,936,475	3,737,502
固定負債		
退職給付に係る負債	534,238	539,111
繰延税金負債	—	53,368
その他	556,028	696,939
固定負債合計	1,090,267	1,289,419
負債合計	5,026,742	5,026,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,982,499	2,982,499
資本剰余金	1,827,189	1,827,189
利益剰余金	29,338,915	29,382,700
自己株式	△985	△1,042
株主資本合計	34,147,619	34,191,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	863,656	943,536
為替換算調整勘定	9,427	24,316
退職給付に係る調整累計額	21,065	17,752
その他の包括利益累計額合計	894,149	985,604
純資産合計	35,041,768	35,176,952
負債純資産合計	40,068,511	40,203,873

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	8,412,795	9,080,844
売上原価	5,669,542	6,189,557
売上総利益	2,743,252	2,891,287
販売費及び一般管理費	1,549,253	1,398,928
営業利益	1,193,998	1,492,359
営業外収益		
受取利息及び配当金	36,533	40,299
為替差益	5,323	284,894
受取賃貸料	35,856	16,277
デリバティブ評価益	17,771	—
その他	33,310	103,883
営業外収益合計	128,796	445,355
営業外費用		
賃貸収入原価	13,629	5,840
デリバティブ評価損	—	571,178
その他	5,270	115
営業外費用合計	18,899	577,134
経常利益	1,303,895	1,360,579
特別利益		
保険解約返戻金	49,398	41,715
特別利益合計	49,398	41,715
特別損失		
固定資産除売却損	—	10,343
保険解約損	—	6,985
特別損失合計	—	17,329
税金等調整前四半期純利益	1,353,294	1,384,966
法人税、住民税及び事業税	282,711	359,037
法人税等調整額	48,708	117,331
法人税等合計	331,419	476,368
四半期純利益	1,021,874	908,597
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,021,874	908,597

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,021,874	908,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88,080	79,879
為替換算調整勘定	7,903	14,888
退職給付に係る調整額	△1,858	△3,313
その他の包括利益合計	△82,035	91,455
四半期包括利益	939,839	1,000,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	939,839	1,000,052

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,353,294	1,384,966
減価償却費	110,167	89,718
のれん償却額	15,310	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,061	△300
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△93,586	△83,480
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△53,788	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△13,370	106
受取利息及び受取配当金	△36,533	△40,299
支払利息	1,658	—
デリバティブ評価損益 (△は益)	△17,771	571,178
売上債権の増減額 (△は増加)	914,487	320,737
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,004,057	△1,417,961
仕入債務の増減額 (△は減少)	△133,673	241,629
その他	△195,518	△39,180
小計	2,853,670	1,027,112
利息及び配当金の受取額	36,533	40,299
利息の支払額	△1,658	—
法人税等の支払額	△483,391	△661,480
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,405,154	405,931
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16,680	—
定期預金の払戻による収入	16,680	2,480
有形固定資産の取得による支出	△341,489	△1,225
保険積立金の解約による収入	121,825	219,519
保険積立金の積立による支出	△102,344	△96,362
その他	△7,341	19,516
投資活動によるキャッシュ・フロー	△329,350	143,928
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△425,000	—
自己株式の取得による支出	△533	△57
配当金の支払額	△864,606	△864,717
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,290,139	△864,775
現金及び現金同等物に係る換算差額	568	2,773
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	786,231	△312,141
現金及び現金同等物の期首残高	6,106,306	9,116,141
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,892,537	8,803,999

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2021年7月1日 至 2021年12月31日）及び当第2四半期連結累計期間（自 2022年7月1日 至 2022年12月31日）

当社グループは、衣料品製造販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。